

売上収益

2,886億円 前期比 **10.2%増**



主要新製品の売上増とロイヤルティ収入の増加等から増収

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は薬価改定のマイナス影響を受けましたが、効能追加されたがん腫への使用拡大により売上が5億円増加しました。また、「オレンシア皮下注」、「フォシーガ錠」などの主要新製品の売上増に加え、ロイヤルティ収入の大幅増により、当期の売上収益は前期比268億円(10.2%)増の2,886億円となりました。

営業利益

620億円 前期比 **2.2%増**

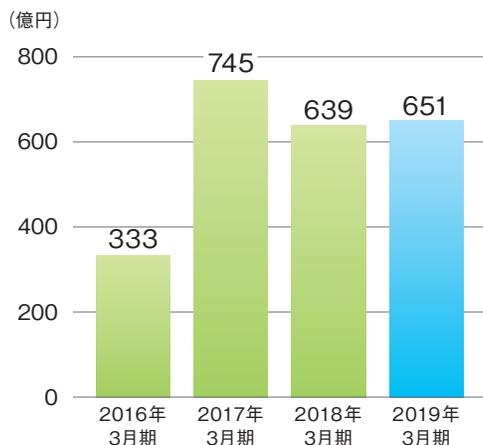


売上原価の増加に加え、販売費及び一般管理費が増加したものの増益

IFRS第15号適用の影響、オブジーボの原薬の安定供給に係る一時的な負担金が発生したことなどにより、売上原価が大幅に増加しました。また、主要新製品の営業経費などの増加により、研究開発費を含む販売費及び一般管理費も増加したことから、当期の営業利益は前期比13億円(2.2%)増の620億円となりました。

税引前当期利益

651億円 前期比 **1.9%増**



金融収支が前期よりも減少したものの、 営業増益により増益

金融収支は前期比1億円(3.4%)減の31億円となりましたが、営業利益の増加により、税引前当期利益は前期比12億円(1.9%)増の651億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

515億円 前期比 **2.5%増**



税引前当期利益の増加に伴い、 当期利益も増益

親会社の所有者に帰属する当期利益は、税引前当期利益の増加により、前期比13億円(2.5%)増の515億円となりました。